

令和6年度国立国会図書館予算概算要求

(単位:百万円)

区 分	令和5年度 予 算 額 (当初)	令和6年度 要 求 額	比 較 増 減 額
(組織)国立国会図書館	19,874	20,346	472
(項)国立国会図書館	18,632	19,292	660
国立国会図書館の運営に必要な経費	9,913	10,385	472
うち人件費	9,735	10,166	431
国立国会図書館業務に必要な経費	7,629	7,817	188
科学技術関係資料の収集整備に必要な経費	1,090	1,090	0
(項)国立国会図書館施設費	1,242	1,053	△ 189
国立国会図書館施設整備に必要な経費	1,242	1,053	△ 189

端数処理のため、合計が合わないことがある。

[重点事項]

()は令和5年度予算額

1. 所蔵資料のデジタル化の推進 460百万円 (410百万円)

国立国会図書館が所蔵する多様な資料の保存と利用の両立を図るため、資料のデジタル化を着実に推進する。1969年から2000年までに国内で刊行された図書約170万点のデジタル化を進める等の従来の取組に加え、将来にわたる利用を保証するため、刊行年が古く媒体の劣化等が懸念される官庁出版物や学術出版物の光ディスクを中心にマイグレーション(データ移行)を実施する。

2. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)のシステム更新

174百万円 (0)

国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)は、インターネット情報を将来にわたって利用できるよう、国等の公的機関のウェブサイト及び発信者の許諾を得た民間のウェブサイトを定期的に収集し、長期に保存するとともに、インターネット等で公開している。ウェブサイトを収集・保存・公開するウェブアーカイブシステムを令和6年度から2か年の計画で更新し、収集・保存を安定的かつ継続的に行うための収集機能の改善、保存している膨大なデータの移行等を行う。

[主な要求内容] 下線の項目が重点事項

(単位：百万円)

区 分	令和5年度 予 算 額 (当初)	令和6年度 要 求 額	比 較 増 減 額	備 考
1 . 国会サービス経費	339	278	△ 61	国会会議録検索システム等の更新経費の減等
2 . 資料費・デジタル化経費	2,527	2,527	0	
(1) 所蔵資料のデジタル化の推進	410	460	50	光ディスクのマイグレーションの増
(2) 資料費	2,117	2,067	△ 50	納入出版物代償金の減
3 . 情報システム経費	3,081	3,224	143	
(1) サービス・業務統合システムの運用等	1,276	1,404	128	図書館サービス・業務の基幹的システムのクラウド移行、館内サービスシステムの更新等
(2) デジタル・アーカイブシステムの運用等	733	741	8	国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)のシステム更新等
(3) その他(サービス基盤ネットワークシステムの運用、データ入力経費等)	1,072	1,079	7	
4 . 図書館業務経費	1,763	1,910	147	既定の業務外注経費の増等
5 . 国際子ども図書館業務経費	262	262	0	
6 . 関西館業務経費	924	924	0	
7 . 人件費	9,735	10,166	431	
8 . 施設整備に必要な経費	1,242	1,053	△ 189	
(1) 東京本館庁舎整備	998	947	△ 51	東京本館本館天井改修工事、東京本館熱源機器整備工事、東京本館新館照明設備改修(LED化)工事等
(2) 関西館庁舎整備	244	106	△ 138	関西館本館事務室照明設備改修(LED化)工事等

端数処理のため、合計が合わないことがある。